

●特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
訪問看護ステーション事業	2,566 万円	2,080 万円
駐車場事業	5,276 万円	3,687 万円
国民健康保険	72 億 1,625 万円	72 億 2,402 万円
介護保険	46 億 15 万円	45 億 1,028 万円
後期高齢者医療	8 億 2,312 万円	8 億 807 万円
老人医療	1 億 1,544 万円	1,924 万円
地方卸売市場事業	793 万円	779 万円
下水道事業	30 億 7,372 万円	30 億 4,234 万円
農業集落排水事業	8,366 万円	8,359 万円
小型自動車競走事業	111 億 3,209 万円	118 億 7,872 万円

●基金残高(現金)

21 年度		20 年度	
決算年度末時 平成 22 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 平成 22 年 5 月 31 日現在	決算年度末時 平成 21 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 平成 21 年 5 月 31 日現在
36 億 5,814 万円	17 億 176 万円	28 億 1,133 万円	12 億 4,544 万円

※一般会計と特別会計すべての基金残高です。

●地方債残高

	21 年度末	20 年度末
一般会計	287 億 6,907 万円	287 億 6,700 万円
特別会計	212 億 9,892 万円	214 億 8,335 万円
合計	500 億 6,799 万円	502 億 5,035 万円

財政まめ知識

経常収支比率 97.3%

*平成 20 年度 96.6%

経常収支比率とは、市税等の一般財源（自由に使える財源）に占める義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の割合のことをいいます。これは、財政のゆとり度を示す重要な指標で、割合が低いほど財政のゆとりがあることになります。本市は 97.3%と非常に高く、財政のゆとりがほとんどない状況にあります。

合併特例債

合併特例債とは、合併を行った市町村がまちづくりの推進のため市町村建設計画に基づいて行う事業や基金を造成するために、その財源として借り入れることのできる地方債（ローンの借入）のことをいいます。これまで行った主な事業は厚狭駅南部地区区画整理事業、清掃運搬施設購入事業、新型ケアハウス購入事業などです。今後も旧市町の市民が一体となったまちづくりに向けて、まちづくり市民会議の意見や財政計画、将来の公債費の動向を注視しながら事業を厳選していきたいと考えています。

みんなのお金の使い道

一般会計の歳出額約 266 億円を市民 1 人あたりで計算すると約 40 万円です。そのお金は次のように使いました。

※平成 22 年 3 月 31 日現在の人口(66,442 人)で計算しています。

学校教育や文化
スポーツのため
3 万 5 千円



ごみ処理や
環境を守るため
3 万 2 千円



市民の健康を
守るため
11 万 7 千円



消防や
防災対策のため
1 万 9 千円



農林水産業
商工業のため
1 万 7 千円



道路・公園など
まちの整備のため
3 万 7 千円



その他
(市の運営など)
14 万 3 千円

